

日 時	2025 年 9 月 7 日（日） 10:00 ～ 12:00 天候：晴
場 所	湿地、2 階交流スペース

講座・活動名	湿地モニタリング調査 & 観察園全樹木調査 毎月第 2 土曜定例
参加者	16 名（うち子ども 名） 構成： 講師 1 名、（環境局 1 名） NTT 西日本関西支店 7 名、エコボラ 7 名
講師名	鈴木真裕（大工大）、北川ちえこ*（エコボラの場合氏名に * 印をつける）
内 容	生き物調査、標本作製、データ入力、（報告書作成） 毎木調査準備
使用器材 資材・道具	（持参、借用等も含む）PC、大型モニタ、マイクロスコープ、調査用紙、たも網、金魚網、バケツ、バット、タッパ、スポイト、エチルアルコール、バイアル瓶、ピンセット、古新聞紙、ラベル用中性紙、ケント紙、クリアポケット、タックラベル、水性のり、もんどり、鯉節、きな粉、昆布、乾燥椎茸
振り返り エコボラ通信に掲載することがあります。	・毎月第 2 土曜が定例となっているが、動物講師のご都合により日程が変更された ・一方、植物講師のご都合が悪くなったため、講師によって前日にデータを記録し、当日の参加者による記録と合わせて調査報告を作成することとなった ・また前日にエコボランティアによる維持管理作業があるため、アメリカザリガニ駆除のためのもんどりを、前日夕刻から沈めて、当日朝に引き上げることにした ・前日に仕掛ける餌は、4 種類混合粉末（鯉節、きな粉、乾燥昆布、干し椎茸）とし大きなもんどりに仕掛け、当日のすくい採り調査終了後には、それぞれ小さなもんどり 4 個に入れて仕掛けた ・駆除数の合計は先月より少なくなった ・湿地の岸の植物の繁茂は、おさまってきたので、実生の樹木苗やアケビの除去のみとした ・樹木調査については、ラベルを取り付けていたシュロ紐の劣化が早いため、PE 紐につけかえることにし、涼しい季節になってから、計測を再開したい
事務局への 伝達事項 次回案内等	★スケジュール変更について 11 月 8 日（土）は、ECO 縁日と重なるので、11 月 9 日（日）10 時に変更

スタッフ氏名	活動内容	参加者氏名	活動内容
木山正隆	植物調査	（北川ちえこ）	前日に植物調査
竹原秀樹	植物調査	（鈴木真裕）	動物調査
渡辺喜代子	植物調査	（環境局 1 名）	樹木調査連絡調整
鈴川博司	湿地周辺のアケビの除去	NTT 西日本 7 名	動物調査、樹木調査準備
芝崎美世子	動物調査		
中谷憲一	動物調査		
桙元慶子	植物調査		

いずれかに○→（○）裏面に図面、写真等を添付した （ ）裏面なし （ ）詳細はファイルで提出

湿地の状況 250906 (前日)

給水中

水はやや濁っていた 給水はジャバジャバ



北方向



南方向

湿地の状況 250907

給水中

給水はジャバジャバ



水車下の水栓付近の「つまり」を除去したことで、水量が回復した
湿地の底に石を置いて配置した給水ホースに問題が生じたわけではなかった
ただし、タイワンシジミの稚貝がつかないか要注意

湿地外の外周路西側にセンダンの大木があるためか、実が多数沈んでいた（ひとつだけハンノキか）
あわせて、センダンの芽生えが湿地の岸に出てきたので、除去した（すぐに大木になり、岸を壊されるため）



湿地の調査 250906-250907



大モンドリ
9/6 16時頃～9/7 10時半頃
4種類混合粉末
(鯉節、きな粉、乾燥昆布、干し椎茸)



アメリカザリガニの駆除 前日から仕掛けたもんどり



前日分引き上げ 26匹

湿地の調査 250907

アメリカザリガニの駆除

5回すくい採り調査 1匹



アメリカザリガニ

追加駆除・網入れ 10匹



ソーティング 250907

湿地の調査 250906-250907

アメリカザリガニの駆除

大モンドリ

9/6 16時頃～9/7 10時半頃

4種類混合粉末（鯉節、きな粉、乾燥昆布、干し椎茸）

アメリカザリガニ 26

カワリヌマエビ属 9

小モンドリ

（記載順に西側→東側の配置；約80分設置）

鯉節粉末

ハイロゲンゴロウ 2

カワリヌマエビ属 3

きな粉

アメリカザリガニ 1

カワリヌマエビ属 9

乾燥昆布粉末

アメリカザリガニ 4

干し椎茸粉末

アメリカザリガニ 4

カワリヌマエビ属 5

9/7 調査当日

5回すくい探り調査 1

追加駆除網入れ 10

合計46匹



*2023年12月から2024年3月の期間は、池干しを実施した
2025年4月からもんどりでの捕獲も実施

湿地の生き物 250907



イヌビエ



イグサ



ケイヌビエ

湿地の生き物 250907



アメリカタカサブロウ



ツユクサ



ミソバ

湿地の生き物 250907



ゴマダラチョウ

湿地西側には
No.70とNo.71エノキ大木が
あるため、産卵にきたのか



クロスジギンヤンマ



ネグロミノガ?

イグサについていた



シオカヲトンボ

湿地の生き物 250907



チュウガタンロカネグモ

イグサに巣をかけていた



アシナガグモ属の一種

ケイヌビエについていた



イトミミズ亜科の一種

湿地の生き物 250907



アメンボ



マツモムシ



コマツモムシ

湿地の生き物 250907



スジエビ (在来種)



ヒメタニシ



カワリヌマエビ属の一種

観察園全樹木調査 250907

樹木ラベルの紐の交換



外れかけシュロ縄



プレートシュロ縄



新たに用意した
札取り付け用PE紐



PE紐付け直し



No.70エノキ
札付替作業



No.70エノキ
札付替後

シュロ紐の劣化が早いので、PE紐につけかえた

報告・撮影：井上（NTT西日本）

湿地モニタリング・観察園全樹木調査 調査風景 250907



室内で作業前ミーティング 家族でご参加も



もんどり朗作成



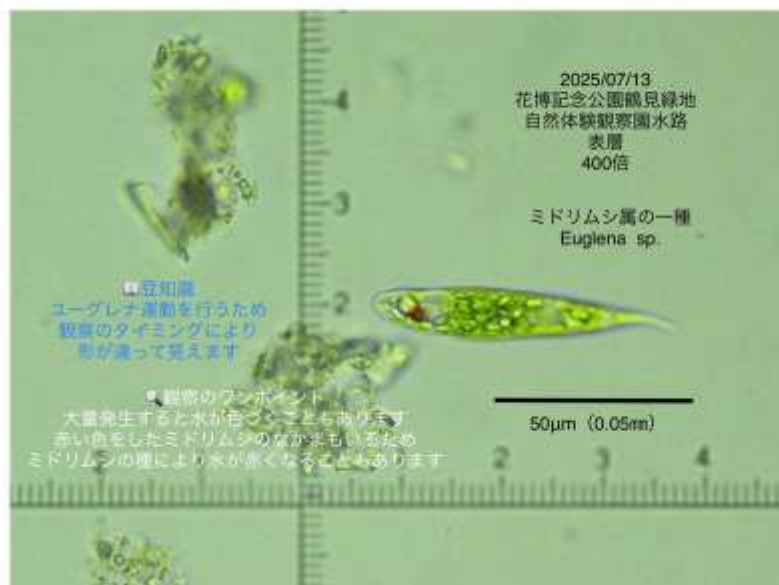
植物班の調査風景



観察園北の風車前花壇

報告・撮影：井上（NTT西日本）

観察園水路の生き物 250713



ミドリムシ属

岡谷崇宏さんから報告

